

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

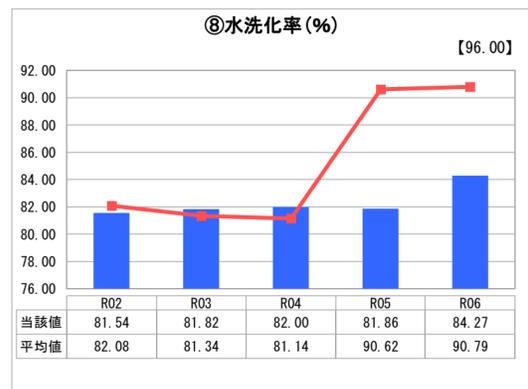
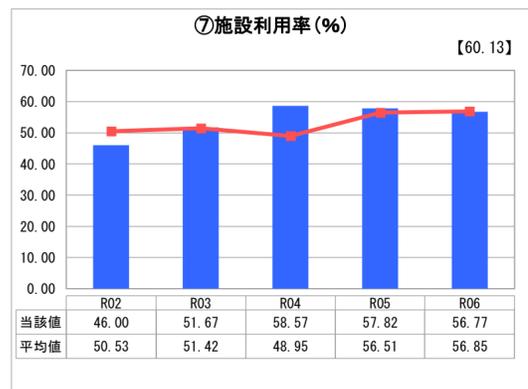
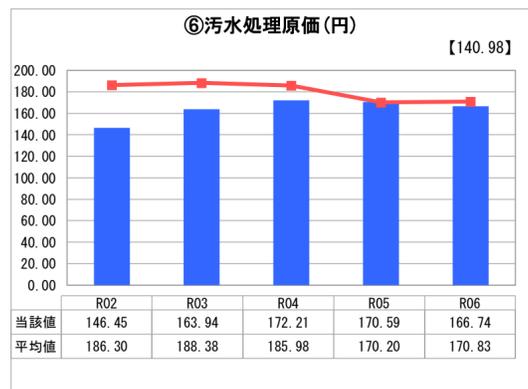
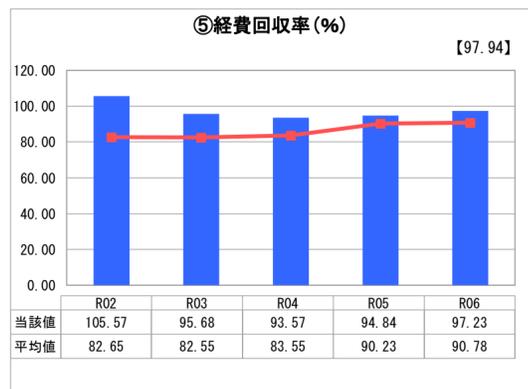
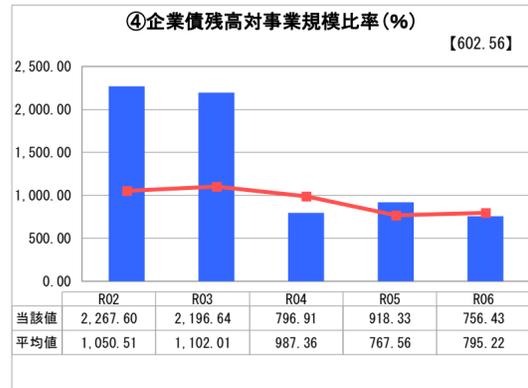
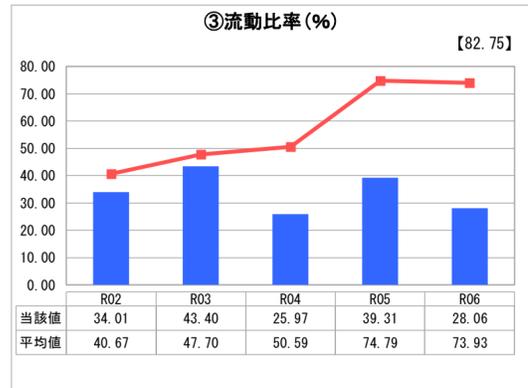
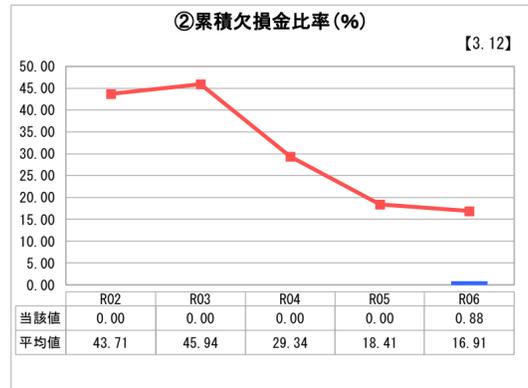
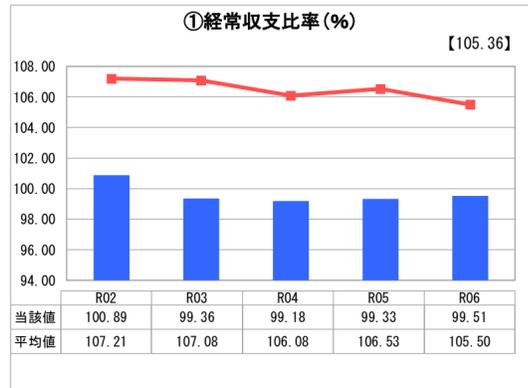
兵庫県 洲本市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	46.27	25.62	75.03	2,530

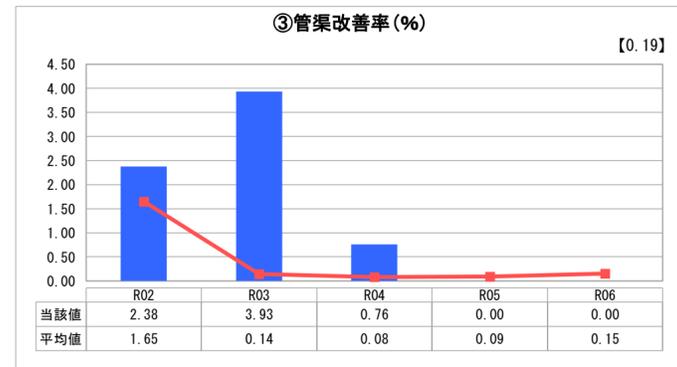
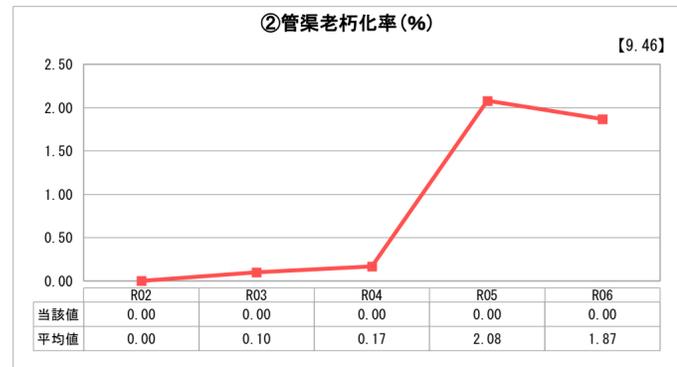
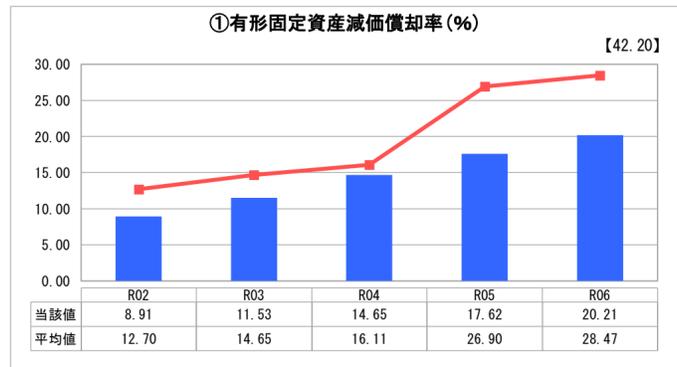
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
40,767	182.38	223.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,406	3.10	3,356.77

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

公共下水道事業は平成30年度から地方公営企業法を適用(財務適用)しています。

① 経常収支比率は「99.51%」です。今後もほぼ横ばいとなる見込みですが、100%以上となるように経費削減、使用料の回収に努めます。

② 累積欠損金比率は「0.88%」です。地方公営企業法を適用した平成30年度決算以降初めて令和6年度決算で欠損金が生じましたが、依然として類似団体平均を大きく下回っています。

③ 流動比率は「28.06%」です。公共下水道事業は概成に向けて投資を行っている途中であり、企業債の元金償還が多額であるため、類似団体平均及び全国平均を下回っていると考えられます。

④ 企業債残高対事業規模比率は「756.43%」です。概成に向け、新規の投資を行っている途中であり、毎年企業債の借入を行っています。企業債の借入額を抑制しているため、今後は少しずつ減少する見込みです。

⑤ 経費回収率は「97.23%」です。100%以上となるように経費削減、使用料の回収に努めます。

⑥ 汚水処理原価は「166.74円」です。類似団体平均をやや下回っていますが、全国平均を上回っています。今後は計画的・効率的な投資と接続率の向上により、更なる改善に努めます。

⑦ 施設利用率は「56.77%」です。類似団体平均とほぼ同水準で、全国平均より下回っています。今後は計画的・効率的な投資と接続率の向上により、更に改善されるよう努めます。

⑧ 水洗化率は「84.27%」です。類似団体平均及び全国平均より下回っています。今後は推進活動により水洗化率向上に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

本市の公共下水道事業は平成5年から供用を開始しており、経過年数が少ないため、減価償却率は類似団体平均を下回っています。管渠に関しては法定耐用年数を超えるものもなく、軽微な修繕で済んでいます。

処理場等の施設に関しては、長寿命化工事等で計画的に大規模改修を行い、修繕費用の平準化及び低コスト化に努めています。

### 全体総括

本市の公共下水道事業は、概成に向け投資を行っている途中です。国庫補助金を活用し、効率的・計画的な投資を行い、生活排水処理率の向上と健全な下水道事業経営に努めます。

また、令和6年度決算時点の数値では影響が見られませんが、物価高騰等の影響により今後の営業費用の増大が見込まれます。これに対応するため、令和8年度から使用料の増額改定を予定しています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。